

浙江省 2015 年 10 月高等教育自学考试

高级日语(二)试题

课程代码:00610

请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。

选择题部分

注意事项:

1. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

2. 每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

[文法] (30 点)

一. 次の文の \_\_\_\_\_ に入れる最も適当な言葉を A、B、C、D の中から一つ選びなさい。(2\*10 = 20 点)

1. 社会全員は子供の成長に関心を \_\_\_\_\_ べきだと思う。

A 使う B 寄せる C 見る D 考える

2. こんな \_\_\_\_\_ のある芋を食べたことがない。

A 甘さ B 甘み C 甘い D 甘え

3. 次郎は泥 \_\_\_\_\_ の靴をはいたまま部屋に入った。

A だらけ B まみれ C だけ D ばかり

4. 前月北海道へ行ったことを親に \_\_\_\_\_ 話していなかった。

A だけ B か C すら D へ

5. これは風紀を \_\_\_\_\_ ことだから、厳しく処罰しなければならない。

A 起こす B 違反する C 間違う D 乱す

6. 定職も無いし、不動産などもないし、こんな私に銀行がお金を貸してくれる \_\_\_\_\_ はないだろう。

A 理由 B わけ C 原因 D 想像

7. 電話で知らせてくれた\_\_\_\_\_有り難いと思っていたのに、わざわざ家まで訪れてきてくれるなんて、本当に思わなかった。

A さえ B だけでも C だけには D からは

8. しんと静まり返って寝付けないうとき、僕はよく遠いふるさとに思いを\_\_\_\_\_ものだ。

A 送った B 馳せた C 出した D 重ねた

9. あんなに美しかった山は今では\_\_\_\_\_山になってしまった。

A 終わり B 小 C 枯れ D なし

10. 今後あの人のことなら、\_\_\_\_\_ことにしよう。

A 知らない B 分らない C できない D 考えない

二. 次の解釈にふさわしい諺をA、B、C、Dの中から一つ選びなさい。(2\*5=10点)

11. その道にすぐれた人でも、時には失敗することもある。

A. 弘法も筆の誤り  
B. 善は急げ  
C. 二階から目薬  
D. 人こそ人の鏡

12. 何の根拠もないこと。

A. 咽から手が出る  
B. 根も葉もない  
C. 人の花は赤い  
D. 頭が動ければ尾も動く

13. 厳しく叱らないで寛大に扱うこと。

A. 気が散る  
B. 大目に見る  
C. 気が利く  
D. 胸が騒ぐ

14. 欲しくてたまらないこと。

A. 手を出す  
B. 骨を折る  
C. 咽から手が出る  
D. 以心伝心

15. 他人のものはよく見えること。

A. 肝が太い  
B. 楽あれば苦あり  
C. 人の花は赤い  
D. 鼻にかける

[読解] (20点)

三. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(2\*10=20点)

文章1

志願者と入学者の総数がほぼ同じになる「大学全入時代」。文部科学省は、当初の見込みより早まり、来年度にも到来すると予測している。

大学生の学力低下はますます深刻になるにしても、希望すれば、誰もが大学にいける「よい」時代になったものだとも思う。そんな折、東大の大学経営・政策研究センターが、全入時代に求められる高等教育政策を探ろうと、公開シンポジウム「現代日本の大学進学と政策」を開くと言うので、参加した。

シンポでは、同センターが、全国約4000人の高3生とその親を対象に、昨秋と、進路決定後の今春の2回実施したアンケート調査の結果が報告された。①成績上位の生徒で、女子の四年制大学(四大)進学者の比率は6割弱で、男子より約1割低かった。

地域差も大きい。女子の四大・短大進学率が全国平均より高い「四大・短大優位県」は、南関東や関西に多い。他方、専修学校の進学率や就職率が全国平均より高い「専修・就職優位県」は、東北や九州に多かった。ただし、女子の場合、地域にかかわらず、本人も親も、男子より地元に進学先を求める傾向が強かった。②このことは、地元の大学が少ない東北や九州などの地方で、女子の進学率が落ち込むことを意味する。

また、進路選択時に家庭の経済状況を考慮した生徒の比率は、四大・短大優位県では、男女とも5割台だったのに対し、専修・就職優位県では、女子は7割強と、男子より1割多い。親についても、同様の傾向が出た。このため、地元経済が不調な地方では、③その影響が女子に出やすく、男女間に「進学格差」を生んでいる可能性があるという。

つまり、格差問題は、大学に志願書を出す前の段階に潜んでいるのだ。

今回、女子の進学について分析を担当した林未央・日本学術振興会特別研究員は「女子の四大進学率が低い地方に大学、特に授業料が安い国公立大の増設が望ましい。その際、資格志向が強い女子に応じた、看護・福祉系などの新学部をつくることが求められる」としている。

地方の私立大の経営破綻や入学定員割れが相次いでいるさなか、これはにわかには実現が  
(4) 政策にも映る。しかし、少なくとも、地方や性別、階層の視点もいれ、多面的に考  
える必要性に気付かせてくれる。

矢野真和・同センター長は「大学全入時代という言葉が、今も存在する進学機会の不平  
等問題を隠蔽してしまっている」と話す。

⑤マスメディアも世間も、新しい事態に「キャッチコピー」をつけると、それでわかっ  
た気になることが往々にしてある。教育上の重要な論点が埋もれていないか、たえず検証  
する大切さを改めて肝に銘じたい。

16. 下線部①と一致する内容は次のどれか。

- A 成績上位の生徒で、女子の四大進学者の比率は6割未満で、男子は7割ぐらいである。
- B 成績上位の生徒で、女子の四大進学者の比率は6割超過で、男子は8割未満である。
- C 成績上位の生徒で、女子の四大進学しなかった者の比率は4割弱で、男子は3割強である。
- D 成績上位の生徒で、女子の四大進学しなかった者の比率は4割未満で、男子は3割超過である。

17. 地域別高校卒業後の進路について、文章の内容と合っているのは次のどれか。

- A 南関東では女子専修学校の進学率は全国平均より高い。
- B 関西では女子専修学校の進学率は全国平均より高い。
- C 東北では女子の就職率は全国平均より高い。
- D 九州では女子の四大・短大進学率が全国平均より高い。

18. 男子と女子との進路違いについて、文章の内容と合っているのは次のどれか。

- A 成績上位の生徒で、男子より女子のほうが四大進学者の比率が高い。
- B 男子の場合、女子より地元就職先を求める傾向が強かった。
- C 女子の場合、男子より地元就職先を求める傾向が強かった。
- D 進路選択時に家庭の経済状況を考慮した生徒の比率は男子も女子も変わらない。

19. 下線部②「このこと」は何を指すか。

- A 女子の場合、男子より四大進学者の比率が低いこと。
- B 女子の場合、男子より専修学校の進学率や就職率が高いこと。
- C 女子の場合、男子より地元に進学先を求める傾向が強かったこと。
- D 女子の場合、男子より進路選択時に家庭の経済状況を考慮する比率が高いこと。

20. 下線部③「その影響」は何を指すか。

- A 全入時代が到来したこと。
- B 地元で大学が少ないこと。
- C 地元経済が不調なこと。
- D 学力低下がますます深刻になること。

21. 括弧④に入る言葉として、最も適切なのは次のどれか。

- A 優しい B 厳しい C 久しい D 平たい

22. 下線部⑤とはどういう意味か、つぎの中から一つ選びなさい。

- A 「キャッチコピー」がその事態の真実を隠蔽してしまう恐れがある。
- B 「キャッチコピー」がその事態の真実を分かりやすく説明することが出来る。
- C 「キャッチコピー」がその事態の真実を反映し、人々の理解を助けることが出来る。
- D 「キャッチコピー」がその事態の真実をより多くの人に理解して貰うことが出来る。

## 文章 2

知らないことを、素直に知らない、と言い、知る努力をすれば、情報の蓄積は子供時代と同様に、ぐんぐん増えてゆくだらう。ところが、「知らない」という一言を言えないために、本当は増えていくはずの情報が増えない。昔から、①\_\_\_\_\_という諺がある。「知らない」という言葉を口にするのは、恥ずかしいことかも知れないが、知らないくせに知ったようなふりをしていることは、一生知らぬままに過ごすことになるというわけだ。

むき出しの好奇心にブレーキをかけて、はっきり「知らない」と言えず、すなわち、それを恥ずかしい、と思うようになるのは、それだけ自我意識が確立した、ということにはかならないわけだから、一概に②それを悪いことだ、とは思わない。ただし、知りたいという欲求を抑えて、知ったかぶりをする、というのは人生の生き方として、大きなマイナスなのではないか。

23. ①下線に入る適当なものを選びなさい。

- A 一を聞いて十を知る                      B 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥  
C 百聞は一見にしかず                      D 聞くと見るとは大違い

24. ②の「それ」は何を指しているのか。

- A 好奇心にブレーキをかけること。                      B 「知らない」と言えないこと。  
C 恥ずかしいと思うこと。                      D 自我意識が確立したということ。

25. この文章の内容に合わないものを選びなさい。

- A 好奇心を抑えて、知的欲求にブレーキをかけるのは人生の生き方としてマイナスだ。  
B 子供の時は素直に「知らない」と言えたから、情報が増えていった。  
C 子供のうちに、情報を頭の中に入れておくべきだ。  
D 恥ずかしいという感情が芽生えるのは、自我意識が確立したことの一つの表れだ。

## 非选择题部分

注意事項：

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上，不能答在试题卷上。

[文字・語彙] (20 点)

四. 下線部の言葉の読み方を平仮名で書きなさい。(1\*10=10 点)

田んぼの間を子守歌のようなやさしい音色をたててながれていた。

26

谷や川へたえず目をやりながら、こちらの窓際に強情にがんばっていた。

27

午前中の準決勝と合わせてぶっ続けて 19 回も投げ通した。

28

母の一家は爆心地から 9 キロ離れた疎開先の住宅で朝食の卓を囲んでいた。

29

30

京都の観光客は老若男女を問わず、老舗の若女将といった和風セレブに憧れるよう

31

32

になる。

古代律令制の下では、罪人の処刑も晩秋に行われている。

33

34

35

五. 下線部の言葉の漢字を書きなさい。(1\*10=10点)

途中、木曾路を回ってきたら、思いがけずふぶきに遭いました。

36

一匹の蜂はしょっかくがだらしなく顔へ垂れ下がっていた。

37

そこから受ける暗示は読む人の自発的な活動をゆうはつするある不思議なまりよく

38

39

を持っている。

作る者はそういと肉体のしゅうれんを生かして自らの手で完成した。

40

41

さまざまに輝く穂波にとうすいし、密生した草むらを楽しんでいた。

42

正太郎は昔の友達から寸借さぎをして歩いている。

43

祖父はてっしょう一睡もせず、疲労のあまりこんとうした。

44

45

[翻訳] (30点)

六. 括弧の中の言葉を使って、次の文を日本語に訳しなさい。(3\*5=15点)

46. 我们欢迎平时注意养生的各位朋友的光临。(いとしむ)

47. 以山田君的性格来看,我想他不会因为那样的解释而信服的。(～からして)

48. 孩子们都凑过去津津有味地听他说有趣的故事。(膝を進める)

49. 大家竭力呼喊,但是一点回音也没有。(声を限りに)

50. 那个剧院虽说是新建的,但外观并不怎么起眼。(ぱっとしない)

七. 次の文を中国語に訳しなさい。(3\*5=15 点)

51. 寒い野外で長時間遊ぶのですから、さぞかし寒いと思うかもしれませんが、寒いところでじっとしている訳ではありません。
52. どうも週明けの月曜日に雨の日が多い気がしてならない。
53. そうでなくても、「こういう事したら相手を傷つけはしまいか」、と考えたことはあるのだろうか。
54. しかしどうしてもこの天文台に登りたいという一念は幼い胸に巣をくった。
55. 日本は今や富める国の仲間入りをしています、以前は違いました。